

別表1 食育推進計画個別事業の評価結果

[評価点の基準]

5…順調(100%) 4…おおむね順調(70%~100%未満) 3…一部遅延(50%~70%未満) 2…大幅遅延(0%超~50%未満) 1…未実施(0%)

★印は数値目標を掲げている事業

評価点数欄が斜線の事業は、計画上の実施予定年次が来ていないため、評価していないもの

◆庁内委員=庁内食育推進部会での評価点数 ◆推進委員=日野市食育推進会議での評価点数

大項目	中項目	小項目	事業名	事業No.	主管課	平成19年度~平成23年度 評価点数			【19年度~ 23年度】 大項目ご との平均 評価点数	コメント欄 事業の進捗状況についてのコメントおよびその他のコメント	
						主管課 評価点	庁内 委員 評価点	推進 会議 評価点			
1 家庭における食育の展開											
I 食育は家庭から・朝ごはんは元気の源											
(1) 「TVを見ないで朝ごはん・夕ごはん」の推進											
			② 朝ごはんの料理講座の充実	No.2	健康課	4.0	4.0	4.0	4.25	講座回数は減少しているが、1回あたりの受講者人数が増えているので大変良いと思う。前年度より回数を増やすと受講者数がどうなるかやってみてほしいと思う。地道な活動を期待する。	
(2) 保育園、幼稚園を通じた食育推進											
			① 保護者向け朝食教室(公立保育園) (数値目標1対象事業)	★No.3	保育課	4.0	4.0	4.0		ほとんど食べてない8%を今後どのようにするかを検討してほしい。朝食の欠食率が半減したことは評価できる。今後は食事の内容について改善することも必要であると思われる。	
			④ 朝ごはん声かけ運動 (数値目標1対象事業)	★No.6	保育課	5.0	4.4	4.1		しっかり出来ていると思われる。	
(3) 保育園、幼稚園へ就園前の子どもたちへの食育推進											
			① 乳幼児の食生活の支援	No.10	健康課	5.0	4.6	4.8		参加者申し込みのやり方を、もっと広くやってはどうか。乳幼児の保護者は、とにかく相談する人が少ないので、健康課が頼りだと思ふ。	
			⑤ 子ども家庭支援センターにおける 取り組みの充実	No.14	子ども家庭 支援センター	4.0	4.0	4.0			
(4) 妊産婦に対する食育											
			① 若年(ママ・パパ)世代の食生活を見直そう! マタニティクッキングの充実	No.15	健康課	5.0	4.9	4.6		平日の実施も良いが、男女が参加出来る曜日も検討されればと思う。	
2 学校、児童館、保育所などにおける食育の展開											
II 安全安心でおいしい学校給食											
(1) 「ひの野菜給食月間」の制定											
			① 「日野産野菜給食の日」	No.17	学校課	4.0	4.0	4.0	4.15	学校の給食だよりやホームページによる啓発では、広く一般には知られないのではないかと。よくやっているが、あとは供給側の問題だと思ふ。	
			⑥ 学校から家庭への情報発信 (数値目標2対象事業)	★No.22	学校課	4.0	4.0	4.0		保護者の朝食欠食率の減少が望まれる。	
(2) 学校給食日野産野菜の利用促進											
			③ 学校給食用地元野菜など契約栽培システム ~輸送エネルギー節約によるCO2排出削減~ (数値目標3対象事業)	★No.27	産業振興課	5.0	4.4	4.5		金額ベースで算出よりカロリーベースで算出されてこそ%がでるのではないかと。	
(3) 学校、児童館、保育所などにおける食育の均質化と質の向上											
			③ 私立保育園、私立幼稚園における食育推進	No.33	保育課	3.0	3.1	3.0		栄養士のいない幼稚園もあるので、公民栄養士会を年2回だけではなく、もっと行って欲しい。	
			⑥ 食べ残しゼロの呼びかけ ~ごみ減量によるCO2排出削減~	No.36	ごみゼロ 推進課 (学校)	4.0	4.1	4.0		生ゴミ処理方法は大変良いと思うが、塩分が入った生ゴミをそのまま使用する事があれば心配である。クリーンセンター見学が実施されているのであれば、1日、1ヶ月、1ヶ年の生ゴミ処理量や日野市における1軒当りのゴミ量、処理に対する経費などの報告もしてはどうか。	
(4) 体験による食の重要性の理解の促進											
			① 調理体験の促進	No.40①	子育て課	5.0	5.0	4.8		子供達にランチづくりをさせる事は素晴らしいが、家庭でどの様に生かされているかが見えない。	
				No.40②	保育課	5.0	5.0	4.6			
				No.40③	学校課	4.0	4.1	4.1			
				No.40④	中央公民館	4.0	4.1	4.0			
			② 体験農業の推進	No.41①	学校課	5.0	5.0	4.8	食の安全を考えることは大切であると思うが、実際に農業を行う上でこの様な方法では大量生産はできず学校給食に使用する規格品が減少する。化学肥料、農薬使用の取り扱いで安全で安心した野菜を作る事が出来る事の話もする必要があるのではないだろうか。農業と市民一体化の努力が必要である。		
				No.41④	郷土資料館	4.0	3.9	3.9			

別表1 食育推進計画個別事業の評価結果

[評価点の基準]

5…順調(100%) 4…おおむね順調(70%~100%未満) 3…一部遅延(50%~70%未満) 2…大幅遅延(0%超~50%未満) 1…未実施(0%)

★印は数値目標を掲げている事業

評価点数欄が斜線の事業は、計画上の実施予定年次が来ていないため、評価していないもの

◆庁内委員=庁内食育推進部会での評価点数 ◆推進委員=日野市食育推進会議での評価点数

大項目	中項目	小項目	事業名	事業No.	主管課	平成19年度~平成23年度 評価点数			【19年度~ 23年度】 大項目ご との平均 評価点数	コメント欄 事業の進捗状況についてのコメントおよびその他のコメント					
						主管課 評価点	庁内 委員 評価点	推進 会議 評価点							
3	地域における食育の推進	III 地域で進めるみんなの食育	(1) 食から始まるおいしい健康づくり												
			④ 「子ども料理コンテスト」の開催	No.49	中央公民館	4.0	4.1	4.3	3.59						
			⑦ 食と健康の情報発信	No.52	健康課	4.0	3.9	3.9							
			(2) 青壮年期、若年期のメタボリックシンドロームの減少												
			① 運動と食事による生活習慣・メタボリックシンドロームの減少(数値目標5対象事業)	★No.56	健康課	5.0	4.7	4.4			メタボリックシンドロームという言葉の認知が、メタボリックシンドロームの減少に繋がることが重要である。				
			② 小学校の生活習慣病健診	No.57①	学校課	1.0	1.0	1.0			採血にかかる経費も考えると大変難しい事業と思う。未実施であるため評価をすることができない。今後この項目は削除した方が良いと思う。				
			(3) 高齢者の食生活と健康づくりの支援												
			① 高齢者、リタイアシニアの食生活と健康づくり支援	No.58	健康課	5.0	4.6	4.4			安否確認については、今後民生委員会と連携していけないだろうか。				
			② 高齢者配食サービスの実施	No.59	高齢福祉課	4.0	4.0	3.9							
			(4) 食育推進優良店舗の創出												
			① 食育推進店舗用 認定ステッカー作成(数値目標4対象事業)	★No.61	健康課	2.0	2.0	2.3			事業者の認知度が高まっているのは大変良いが、それを後押しする利用者に対するアピールをもっとやっていたらいいのではないのでは。認定ステッカーの作成にはいたっていないが、食育を意識して栄養成分の表示、産地表示、ヘルシーメニューの提供をすることは重要である。今後に期待したい。				
			(5) 地域の力の集約												
			⑦ 人材育成	No.71①	産業振興課	5.0	4.7	4.5			記載されている内容に関しては利用者等の意見を聞く事が必要であると思われる。				
			4	その他の展開	その他(推進事業)	(1) Let's食育 Let's情報発信									
						① 標語、ロゴマーク募集	No.72	健康課			5.0	4.6	4.5	ロゴマークを市の児童館、体育館等の公共施設に貼ってはと思う。	
④市内図書館「Let's食育コーナー」	No.75②	図書館				5.0	4.9	4.5							
(2) 日野農業応援チーム「日野ぐりーんサポーターズ」															
③ 食育に関する取り組みとの連携	No.78	産業振興課				5.0	4.9	4.5	国際交流協会だけでなく、ライオンズクラブやロータリークラブにも協力をお願いしてみたら良いのではないかと思います。						
(3) 食による国際交流の推進															
① 食を通じての異文化交流	No.79	文化スポーツ課				5.0	4.4	4.0							
(4) 安全・安心な食の推進															
⑤ 安全安心に関する講習会	No.84	産業振興課				4.0	4.1	4.0	市民農園は病害虫の発生源となっている可能性があり、年に1~2回利用者は講習を受ける制度を設ける事が必要ではないだろうか。その際は家庭菜園の人々も含めてはどうか。市民農園を借りられず困っている方も多くいるので、市民のニーズに応じた多様な市民農園の検討を急いで欲しい。						